

平成28年度 特別養護老人ホーム紫桐苑 事業計画

(短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業)

1 基本方針

施設は、常に利用者の意思及び人格を尊重し、安心して快適な暮らしがおくれるよう、明るく家庭的な雰囲気を大切にした介護サービスの提供に努めます。

地域や家庭、及び関係機関との結びつきを重視することやボランティア活動、介護実習等の積極的な受け入れを通して、地域社会から親しまれる施設づくりを推進します。

2 重点事項

(1) ケアプランに基づいた生活支援の実現

- ① 一人ひとりのニーズを把握したケアプランを作成します。
- ② ケアプランの内容を実現するための創意工夫を行います。
- ③ ケアプランに対する定期的な見直し及び考察を行います。

(2) 一人ひとりの人権の尊重

- ① 利用者の方に対して常に傾聴する姿勢を持ちます。
- ② 身体拘束の廃止にむけた職員の意識統一を図り、その取り組みを行います。
- ③ 利用者のプライバシーを尊重し、その人らしい生活が送れるよう配慮します。

(3) 安心・安全を確保するための工夫

- ① 感染症に対する予防の意識を高め、日頃から標準予防策を徹底します。
- ② 福祉用具や施設内備品に対する定期的な安全点検を実施します。
- ③ 防災に対する意識を高め、非常用備品の配備と定期的な訓練を実施します。
- ④ 食品に対する衛生管理に努め、食中毒を防止することを徹底します。

(4) 生きがいや楽しみある生活を実現するための工夫

- ① 創意工夫した余暇活動を企画し、利用者間の交流がなされるよう支援します。
- ② 地産地消の推進、郷土食等を盛り込んで楽しみある食事を提供します。
- ③ 利用者のニーズを定期的に確認し、その意向の実現にむけて支援します。

(5) 口腔ケアと健康の維持にむけた工夫

- ① 一人ひとりの口腔内の状態を把握して、適切な口腔ケアに取り組み、かつ、口腔内を衛生に保つことを通じて肺炎予防にも取り組みます。
- ② 良好な口腔状態を維持し、最後まで食べる喜びを感じてもらえるよう支援します。
- ③ 嘱託医及び協力医療機関との連携をもって、一人ひとりの健康管理に努めます。
- ④ 利用者の健康状態の把握に努め、ケアへの工夫を積極的に検討します。

(6) 地域との結びつきを深め地域福祉の向上へ貢献

- ① 学校、保育所、及び関係機関との連携を図り、地域における社会資源としての役割を担います。
- ② 介護実習生等を積極的に受け入れ、福祉人材の育成と地域福祉の向上に対して貢献します。
- ③ 地域の方々と親しみある関係を築くため、積極的な地域行事への参加と地域住民に参加していただける施設行事の企画及び実施に努めます。

(7) 人材育成と職員資質の向上

- ① 職位や職責に応じた資質を確立するため、外部研修を通じた学びの場を確保します。
- ② 新人職員に対しては、教育担当者（エルダー）を配置して、仕事に対する理解や職場環境に馴染める工夫を計画的に実施します。
- ③ 常に相手の立場に立って物事を考え行動できる職員の姿を目指して取り組みます。
- ④ チームごとで仕事に対する業務分担をもち、職員間の連携や協調性を深める取り組みを続けます。

(8) 情報管理の徹底・事務運営の向上

- ① 個人情報に対する取り扱いを順守し、信頼されるサービス事業所を目指します。
- ② 事業実施にあたっては、計画性を持って立案し、堅実な事務処理と運営に徹します。
- ③ 適正な予算の執行と介護保険請求を実施し、健全な運営に努めます。
- ④ ホームページや広報紙等で施設サービスの取り組みを情報発信し、情報開示や人材確保など施設 PR に取り組みます。

(9) サービスの向上にむけた会議・委員会活動の実施

- ① 各種会議を設置し、円滑な施設運営と事業実施に対しての取り組みをします。
- ② 各委員会活動を通じて専門的視野及び立場でサービス内容を充実させる取り組みを実施します。
- ③ 情報を共有化し、起こりうる課題に適切な対処するための活動を心がけます。

(10) 施設環境の整備推進

- ① 個々のプライバシーへの配慮が保てる居室環境の整備を推進します。

(11) サテライト型桐の花および併設事業所デイサービスとの連携及び協働

- ① 本体施設としての役割を果たすとともに、常に職員間及び職種間の連携を密にした一体的な施設運営にむけて取り組みます。
- ② 行事や防災対応においての連携が不可欠であることから、担当職員の連携会議のしくみを整えて、協同して課題へ取り組みます。

